

## 第5回東三河ビジネスプランコンテスト

テーマ

有機廃棄物と授産所の人材を活用する農業

申込者

氏名 フリガナ シラヤナギ ツヨシ

白柳 剛

年齢 58 歳

申込者住所 〒 441-8031  
豊橋市中郷町56

メールアドレス TEL 0532 - 34 - 1475  
shirago@sala.or.jp FAX 0532 - 32 - 9161

事業プランの内容を記入して下さい。(200字以内)

「微生物活用農法」を農家や農業を行いたい授産所に指導するとともに、食品工業から排出される有機産業廃棄物を積極的に活用する。そして収穫した作物は、授産所を通じて個人会員や飲食店会員や一般の人に販売する。また会員の皆さん達にも、栽培や収穫を手伝って頂いたり、食育活動や販売促進活動としての農作業を行う。この活動では、横の繋がりでだけでなく年齢的な縦の繋がりも大切にして文化継承をしていきたいと考えています。

「微生物活用農法」は、作物と共生する微生物を活用し、雑草も活かして栽培する農法です。理論は、多少難しいのですが作業内容は非常に簡単です。資材も農家的レベルでは微生物資材を使用することはありませんが、基本的には米ぬかとお有機廃棄物だけです。雑草を生やすために作業時間も慣行農法に比べて非常に短時間です。

雑草は、1.天敵のすみか、繁殖の場 2.水分保持効果 3.次作の肥料に 4.根圏微生物の多様化

セールスポイント(特色)

「微生物活用農法」は完全無農薬、完全無化学肥料の作物が簡単に栽培でき、そして米ぬか、おからを中心にした有機廃棄物を積極的に活用できるので廃棄物を焼却しなくても良い。また「微生物活用農法」はビニールマルチを使わず、耕す場合は浅耕なので農機具の燃料代も余り要らないので化石エネルギーを少量しか使わない。会員は、美味しく元気な作物を食べることが出来るので大人も子供もお年寄りも健康を取り戻せたり、維持できる。また、希望によっては栽培に参加できるので精神的にも健康になる。

競合商品(ライバル)

有機農産物は数多くあるが、高かったり本当に完全無農薬、完全無化学肥料かが現状である。しかし、この事業では農家と授産所、会員で作物栽培を共有できるので安心です。有機廃棄物も現状では米ぬかとおからですが、有機廃棄物は何でも良いのですが、検査してから活用するのでその点でも安心です。

この事業プランが想定している市場・ユーザーを簡潔に記入して下さい。

栽培者 完全無農薬、完全無化学肥料で作物を栽培したいと思っている農家及び授産所

資金計画 (アイデア部門以外の方は、必ず記入してください。)

資金の使途

	金額(千円)	用途
設備資金		
運転資金	500	説明書、案内書、募集用紙
その他		
合計	500	

調達計画

	金額(千円)	調達先
自己資金	500	
借入金		
その他		
合計	500	

支援して欲しい内容 (番号に印をつけ、具体的な内容を記入してください。)

1. 資金調達 2. 販路拡大 3. 業務提携 4. 技術支援 (5) その他

どのような支援が必要か、具体的に記入してください。

農地を使用するので、行政との摺り合わせ。授産所の紹介。収穫した野菜を積極的に活用して預ける一般市民、飲食店の獲得の応援など。